

# 畜産みやぎ

発行所

名取市増田字柳田379番地1

法人 宮城県畜産会

電話 (382-8133)

編集発行人 大堀 哲

印刷所 (株)東北プリント



みやぎ総合家畜市場 (小牛田町)

## も く じ

「宮城県酪農組織合併研究会」がスタート…… 2  
 平成10年度家畜共済事業実績について…… 4  
 平成10年度生乳需給状況並びに  
 平成11年度生乳需給調整対策について…… 6  
 宮城県農業公社大郷牧場の閉牧について…… 7  
 平成11年度主要行事予定…… 8  
 さらば！ 創心寮…… 8  
 牛ふんハウス乾燥施設の能力と運転法について…… 9  
 牛の「蹄乳頭腫症」について……10  
 抱負……10

みやぎの畜産情報発信基地 宮城県畜産会ホームページ

U R L <http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>

Eメール [mygchiku@mwnet.or.jp](mailto:mygchiku@mwnet.or.jp)

## 「宮城県酪農組織合併研究会」がスタート

－21世紀の本県酪農を担う新しい組織づくりを目指して－

宮城県組織整備推進対策本部

酪農団体組織整備への取り組みは、昨年5月の宮城県組織整備推進対策本部（以下「推進対策本部」という。）の設立以来、関係者の方々の御協力をいただきながら組織整備について検討を進めて来ました。

具体的な動きとして「推進対策本部」は、宮城県組織整備研究委員会（以下「研究委員会」という。）を各酪農組織から選出された24名の委員によって設置し、県内酪農団体の組織整備に関する3項目について検討を依頼しました。

「研究会」は、半年間にわたって活発な検討を重ねた結果、酪農家の経営環境が年々著しく厳しくなる中で、組織運営コスト削減も大きな課題であるという視点に立って、「酪農団体の組織整備に関する答申」を全員一

### 「酪農団体の組織整備に関する答申」の骨子

#### 会員組織の現状と課題については

- ・酪農を取り巻く環境は、新しい時代に対応できる生産環境づくりが必要
- ・酪農経営者は低コスト生産への経営内の努力は限界
- ・今後も引き続き厳しい環境で酪農組織の役割・体制のあり方が大きな検討課題

#### 今後の酪農組織のあり方については

- ・酪農組織の機能は、組合員の酪農経営の安定的発展に貢献し、今後も必要性が大
- ・酪農経営者にとって組織運営コストの削減が大きな課題
- ・長期的展望に立った組織力、財務基盤の強化は急務で、時代の要請

#### 組織整備の基本的あり方については

- ・目標としては、指定生乳生産者団体機能を持つ一本化した組織が適当
- ・組織整備の実現に向けた具体的な取り組みが是非とも必要
- ・酪農家の意見が十分に反映できる組織づくりが前提

### 「酪農団体組織整備基本方針」の骨子

#### 1 組織整備の必要性

- ・日本農業は大きな転換期を迎え、「新たな酪農・乳業対策大綱」などを通じた酪農改革が具体化
- ・酪農家のコスト削減への努力も限界に近づくなど引き続いて厳しい経営環境
- ・酪農組織は、長期的な展望に立った組織の合理化や運営の効率化などが課題

#### 2 推進方針

- ・県内の酪農組織を統合し、指定生乳生産者団体機能を備えた一県一酪農協の実現
- ・県内酪農家の経営安定と県内酪農の一層の発展を目指す

#### 3 具体的実践計画

##### 1) 新組織の形態

- ・宮城県生乳販売農業協同組合連合会を構成している九つの会員組織による組織として、県下一円の酪農農業協同組合を新設

##### 2) 推進の手法

- ・新組織設立に向けて関係組織の現状分析・把握や基本構想づくりを研究・推進する機関を設置

##### 3) 新統合組合設立の時期

平成13年4月1日とする

致で取りまとめ、今年1月13日に推進対策本部長に対して答申いたしました。

答申を受けて「推進対策本部」は、取りまとめられた主旨を尊重した取り組みを確認しあい、2月開催の推進対策本部員会議において、今後の新しい酪農組織づくりの目標となる「酪農団体組織整備基本方針」を策定しました。

さらに、基本方針の実現を図るために意志統一と調査・研究を行う組織づくりを決定し、県内の各酪農組織に対して参加をお願いしました。

その結果、すべての組織に参加のご同意をいただき、去る4月14日に「宮城県酪農組織合併研究会」(以下「合併研究会」という。)をスタートさせることが出来ました。

「合併研究会」は、県内9酪農組織から代表者と2～4名の委員を選出いただき、学識経験者2名を加えた34名の委員(表-1)で構成されており、設立総会当日は、宮城県産業経済部次長二階堂壽氏からご祝辞をいただき、各議案を原案どおりに承認して今後の事業を展開して行くことになりました。

今後、「合併研究会」では新しい酪農組織の役割や仕組みなどを検討・研究しながら、途中経過なども機会をとらえてお知らせし、御意見などもいただきながら、酪農家の皆さんにご賛同いただける新しい組織の基本構想づくりに積極的に取り組んでいくことにしておりますので、今後ともご協力・ご支援をお願いいたします。

(事務局長 氏家清明)

宮城県酪農組織合併研究会委員名簿

区分	氏名	所属団体	職名
会長	佐々木三郎	仙台酪農農業協同組合	代表理事組合長
副会長	細川一昭一	栗原郡酪農農業協同組合	代表理事組合長
監事	青木 繁之	宮城県酪農農業協同組合	副組合長理事
監事	砂金甚太郎	宮城県酪農農業協同組合連合会	副会長理事
委員	柳田一 卯一	蔵王酪農農業協同組合	代表理事組合長
"	大野 定男	"	副組合長理事
"	真壁 仁始	"	常任理事
"	秋葉 吉男	"	常任理事
"	加藤 寛	宮城県酪農農業協同組合	代表理事組合長
"	半澤 善輝	"	副組合長理事
"	伊藤 勲	"	理事
"	岩崎 喜市	"	代表監事
"	櫻井 照三	全農宮城県本部	本部長
"	大森 芳彌	"	副本部長
"	川村 勝司	"	副本部長
"	芳賀 正	"	畜産部長
"	山本 義信	宮城県産業経済部畜産課	畜産課長

区分	氏名	所属団体	職名
委員	後藤 正廣	仙台酪農農業協同組合	副組合長理事
"	渡辺 正志	"	理事
"	一條 秀一	宮城県酪農農業協同組合連合会	代表理事会長
"	佐藤 文徳	"	理事
"	白鳥昇一郎	"	監事
"	千田 覚	栗原郡酪農農業協同組合	理事
"	伊藤 久	"	理事
"	佐々木春吉	登米郡酪農振興農業協同組合	代表理事組合長
"	及川 清孝	"	理事
"	及川 捷征	"	代表監事
"	三浦 鉄夫	本吉郡酪農農業協同組合	代表理事組合長
"	佐藤 勝雄	"	理事
"	三浦 勇	"	代表監事
"	佐々木常夫	遠田郡酪農農業協同組合	代表理事組合長
"	鈴木 篤	"	理事
"	伊東 利一	"	監事
"	阿辺 英明	宮城県農協中央会	常務理事



TCM SUPER BOBLOADER  
スーパーボブローダ  
世界トップレベルの超低騒音  
67dB(A) Clear  
TCM 東北ディーラー エム株式会社  
本社・工場・仙台支店 宮城県仙台市宮城野区中野字藁畔135-1  
TEL (022) 259-6351(代)

動物用医薬品 犬・猫用ノミ駆除剤  
フロントラインプラスプレー  
新発売  
動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル阻害剤  
銩塩E100  
東北ゼンヤク株式会社  
〒981-3361 宮城県黒川郡真谷町あけの平2丁目31-5  
TEL 022-348-6791 FAX 022-348-6794

ORION  
ともに前進 技術のオリオン  
酪農家の  
声を反映した製品づくりと安心の  
おけるアフターサービスは  
オリオングループの誇りです。  
東北オリオン株式会社  
本社 〒984-0001 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022) 284-0691  
宮城営業所 吉川市新田字後徳敷59-4  
〒989-6226 TEL 02291-26-4330

### 平成10年度家畜共済事業実績について

NOSA | 宮城

平成10年度の家畜共済の引受並びに事故実績がまとまりましたので御報告いたします。

#### 1. 引受関係 (表1)

引受頭数は合計で136,762頭となり、前年度より1,324頭の減少となった。このことについては、高齢化による畜産農家の廃業、畜産農家を取り巻く経済的、環境的問題が原因と思われる。共済金額合計では232億9,767万円となり、前年度対比で11億8,425万円の減少となった。この原因は畜産農家の経済的な逼迫と家畜共済適正化による高齢牛の適正評価が考えられる。

表1 - 平成10年度家畜共済引受状況 (3月末現在)

	推進目標			平成10年度			平成9年度			増減			目標達成率		
	頭数 (頭)	共済金額 (千円)	一頭平均 (千円)	頭数 (頭)	共済金額 (円)	一頭平均 (千円)	頭数 (頭)	共済金額 (円)	一頭平均 (千円)	頭数 (頭)	共済金額 (円)	一頭平均 (千円)	頭数 (%)	共済金額 (%)	一頭平均 (%)
乳牛の雌	27,000	4,671,000	173	26,472	4,048,154,252	153	27,339	4,276,366,764	156	- 867	- 228,212,512	- 3	98.0	86.7	88.4
(成乳牛)				24,155	3,921,694,151	162	25,006	4,148,434,589	166	- 851	- 226,740,438	- 4			
(育成乳牛)				2,317	126,460,101	55	2,333	127,932,175	55	- 16	- 1,472,074	0			
肥育牛	29,100	6,790,300	233	29,840	5,954,776,503	200	28,794	6,061,288,714	211	1,046	- 106,512,211	- 11	102.5	87.7	85.7
特定肉用牛等	80,000	14,000,000	175	79,108	13,187,794,062	167	80,418	14,015,967,634	174	- 1,310	- 828,173,572	- 7	98.9	94.2	95.4
(親牛)				46,713	11,226,185,376	240	47,908	11,969,732,306	250	- 1,195	- 743,546,930	- 10			
(胎児)	32,790			32,395	1,961,608,686	61	32,510	2,046,235,328	63	- 115	- 84,626,642	- 2	98.8		
肉用種雄牛				1	640,000	640	1	800,000	800	0	- 160,000	- 160			
一般馬	90	57,330	637	60	35,670,000	595	76	46,000,000	611	- 16	- 10,730,000	- 16	66.7	62.2	93.4
大家畜計	136,190	25,518,630	187	135,481	23,227,034,817	171	136,628	24,400,823,112	179	- 1,147	- 1,173,788,295	- 8	99.5	91.0	91.3
種豚	1,700	93,500	55	1,281	70,639,000	55	1,458	81,103,864	56	- 177	- 10,464,864	- 1	75.4	75.5	100.0
肉豚	50	800	16				0	0	0	0	0	0.0	0.0		
中家畜計	1,750	94,300	54	1,281	70,639,000	55	1,458	81,103,864	56	- 177	- 10,464,864	- 1	73.2	74.9	102.1
合計	137,940	25,612,930	186	136,762	23,297,673,817	170	138,086	24,481,926,976	177	- 1,324	- 1,184,253,159	- 7	99.1	91.0	91.6

**WORLD 50**  
WORLD 50  
株式会社 五十嵐商会  
仙台市若林区卸町五丁目1番地4  
電話(022)236-2525(代表)

正統の育ちと味  
**仙台牛**  
仙台牛銘柄推進協議会  
仙台市青葉区上杉1-2-16 全農みやぎ畜産課内 TEL.022(264)8450

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!  
**ルビックス**  
牛用混合飼料  
S  
アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料  
農協 全農 経済連

2. 事故関係 (表2)

死傷事故は損害防止に各組合が取り組んだ効果もあり、全畜種合計で5,323頭と前年度対比で17頭減少、支払共済金でも4,404万円減少し、7億6,235万円と前年度を下回る支払となった。特に乳牛の雌で頭数、支払共済金の減少が著しかった。しかしながら、死傷を占める疾病は乳牛で関節炎、乳房炎、ダウナー症候群が圧倒的に多く、肥育牛では心不全、肺炎、特定肉用牛では胎子異常の事故が依然として多く今後の課題である。

病傷事故は乳牛の雌で前年対比980件減少したものの、肥育牛、特定肉用牛等で1,131件の増加となり、支払共済金では前年度を204万円下回った。今後も関係機関、関係団体のご指導を頂きながら検診車、搾乳立会、繁殖巡回等を駆使し農家の生産性の向上と事故防止の強化に努めてまいりたい。

(家畜部次長 武蔵昌文)

表2 - 平成10年度家畜共済事故状況 (3月末現在)

●死傷事故

単位 (頭数: 頭, 共済金額: 円)

	平成10年度					平成9年度					増減				
	死亡	廃用	合計	支払共済金	請求保険金	死亡	廃用	合計	支払共済金	請求保険金	死亡	廃用	合計	支払共済金	請求保険金
乳牛の雌	859	1,526	2,385	373,159,731	335,842,885	870	1,579	2,449	411,254,790	370,128,566	- 11	- 53	- 64	- 38,095,059	- 34,285,681
(成乳牛)	833	1,519	2,352	370,395,543	333,355,128	850	1,570	2,420	408,602,737	367,741,729	- 17	- 51	- 68	- 38,207,194	- 34,386,601
(育成乳牛)	26	7	33	2,764,188	2,487,757	20	9	29	2,652,053	2,386,837	6	- 2	4	112,135	100,920
肥育牛	495	465	960	165,527,797	148,974,681	451	464	915	171,736,134	154,562,260	44	1	45	- 6,208,337	- 5,587,579
特定肉用牛等	1,505	322	1,827	213,909,981	192,518,641	1,521	292	1,813	211,793,747	190,614,165	- 16	30	14	2,116,234	1,904,476
(胎児・出生以外)	290	316	606	137,843,828	124,059,275	316	284	600	137,143,842	123,429,339	- 26	32	6	699,986	629,936
(胎児・出生子牛)	1,215	6	1,221	76,066,153	68,459,366	1,205	8	1,213	74,649,905	67,184,826	10	- 2	8	1,416,248	1,274,540
一般馬	4	1	5	2,256,416	2,030,774	1	4	5	3,017,661	2,715,893	3	- 3	0	- 761,245	- 685,119
肉用種雄牛											0	0	0	0	0
種豚	79	67	146	7,495,267	6,745,693	93	65	158	8,589,152	7,730,202	- 14	2	- 12	- 1,093,885	- 984,509
肉豚											0	0	0	0	0
合計	2,942	2,381	5,323	762,349,192	686,112,674	2,936	2,404	5,340	806,391,484	725,751,086	6	- 23	- 17	- 44,042,292	- 39,638,412

●病傷事故

単位 (件数: 件, 共済金額: 円)

	平成10年度				平成9年度				増減			
	件数	支払共済金	請求保険金	ほてん金	件数	支払共済金	請求保険金	ほてん金	件数	支払共済金	請求保険金	ほてん金
乳牛の雌	19,566	312,551,244	107,613,661	192,980,610	20,546	324,088,623	114,427,764	196,946,753	- 980	- 11,537,379	- 6,814,103	- 3,966,143
(成乳牛)	18,923	306,190,024	105,527,533	188,937,308	19,973	318,185,717	112,343,323	193,359,891	- 1,050	- 11,995,693	- 6,815,790	- 4,422,583
(育成乳牛)	643	6,361,220	2,086,128	4,043,302	573	5,902,906	2,084,441	3,586,862	70	458,314	1,687	456,440
肥育牛	11,791	119,759,126	45,016,127	69,741,218	11,410	118,348,832	43,338,341	70,195,130	381	1,410,294	1,677,786	- 453,912
特定肉用牛等	34,007	355,178,940	107,984,194	235,196,645	33,257	346,641,229	105,240,955	229,706,986	750	8,537,711	2,743,239	5,489,659
(胎児・出生以外)	22,364	209,754,968	66,957,216	135,358,174	21,683	204,455,523	64,813,889	132,440,199	681	5,299,445	2,143,327	2,917,975
(胎児・出生子牛)	11,643	145,423,972	41,026,978	99,838,471	11,574	142,185,706	40,427,066	97,266,787	69	3,238,266	599,912	2,571,684
一般馬	38	393,420	134,367	244,124	43	471,610	155,640	298,678	- 5	- 78,190	- 21,273	- 54,554
肉用種雄牛									0	0	0	0
種豚	314	2,090,964	574,795	1,452,304	364	2,472,230	678,388	1,718,466	- 50	- 381,266	- 103,593	- 266,162
合計	65,716	789,973,694	261,323,144	499,614,901	65,620	792,022,524	263,841,088	498,866,013	96	- 2,048,830	- 2,517,944	748,888

畜産振興の明日を  
担う地方競馬



地方競馬全国協会

●効能...粗飼料の食い込み、消化吸収促進  
悪臭防止、優良堆肥作り  
創業38年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母

Ferment Feed  
**ピタコーゲン**

株式会社セイフ 東北営業所  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号  
TEL (022) 215-3112  
FAX (022) 213-7190

STAR **スター農業機械**

マニュアルブレッタ

倍角ステアリングで  
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800  
(8Aステアリングボディ) (フェイスロータ)

スター農業株式会社 仙台営業所  
〒985-0845 多賀城市町前2丁目7 TEL 022-367-4573



### 平成10年度生乳需給状況並びに 平成11年度生乳需給調整対策について

#### 宮城県生乳販売農業協同組合連合会

本県の平成10年度生乳生産状況は、乳牛飼養戸数、頭数の減少に加えF1価格の低落による収益性の悪化等を背景に生乳受託実績は179,163トンとなり出荷目標数量に対して5,847トンの大幅な未達となりました。(別表1～2)

これら未達状況は本県に限らず全国的に同様の状況となったことから、中央酪農会議において当初、取り決められていた超過・未達による次年度の出荷目標数量の削減ペナルティーの除外許容範囲についても0.5%から1%へ緩和されました。

本県としては、5,847トンの未達になったものの、出荷目標数量の削減ペナルティーの除外許容範囲が緩和されたことから、平成11年度分から削減される未達ペナルティーは3,831トンとなりました。

また、需要においては飲用等向けは前年比99.5%と振わなかったものの、加工向けについては10年度から実施された加工の平準化の影響もほとんど受けず前年比86.7%と大幅に減少し、生乳の計画生産と併せて実施されている用途別計画生産については、

何とか飲用等向の割当数量は達成することが出来ました。(別表3)

一方、平成11年度の出荷目標数量については、前年度に大幅な未達となったため、未達ペナルティー控除後の生乳計画生産出荷目標数量は182,009トンとなりました。(別表1)

今年度は、生乳生産状況が現状のまま低位で推移することとなれば需要期にはかなりの生乳不足が予測されることから、是非とも目標数達成に向けてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後にこの3月に農水省で公表した「新たな酪農・乳業対策大綱」にもあるとおり、平成13年度を目途に実施される価格政策の見直しを推進するための一つの条件として、指定団体の広域化を早急に整備することとなっており、激変する酪農環境の下ではありますが、本会会員と一丸となって取り組んでまいりますので、今後も皆様のご指導とご協力を重ねてお願い申し上げます。

(販売課長 阿部 強)

別表1 平成10年度生乳計画生産達成状況及び平成11年度生乳出荷目標数量

(単位：トン、%)

生産者団体	平成10年度計画生産達成状況				平成11年度生乳出荷目標数量		
	受託乳量	前年比	計画比	超過・未達乳量	平成11年度	平成10年度	伸び率
蔵王酪農	31,940	96.0	95.5	▲ 1,510	32,373	33,450	
宮城酪農	51,600	98.5	97.3	▲ 1,443	52,658	53,043	
全農宮城	31,876	100.0	98.8	▲ 405	32,705	32,281	
仙台酪農	6,382	96.7	102.4	150	6,336	6,232	
県酪連	30,752	98.1	98.5	▲ 477	31,521	31,229	
栗原酪農	7,149	94.7	92.9	▲ 543	7,172	7,692	
登米酪農	6,797	86.0	86.3	▲ 1,077	6,619	7,874	
本吉酪農	5,478	91.5	91.4	▲ 516	5,460	5,994	
遠田酪農	5,878	97.2	101.9	111	5,863	5,767	
山田酪農	1,311	92.5	90.5	▲ 137	1,302	1,448	
合計	179,163	97.2	96.8	▲ 5,847	182,009	185,010	98.40%

別表2 宮城県の動向

別表3 平成10年度用途別販売実績

(単位：トン、%)

項目	平成10年2月1日	平成11年2月1日
生乳出荷戸数	1,274戸	1,210戸
前年比	93.4%	95.0%
乳牛飼養頭数	35,249頭	34,383頭
前年比	96.2%	97.5%
経産牛	25,746頭	25,248頭
前年比	98.2%	98.1%

用途別	乳量	前年比	構成比
飲用向	131,898	99.0	73.6
生クリーム等向	6,076	105.1	3.4
はっ酵乳等向	7,923	108.6	4.4
チーズ向	1,205	108.9	0.7
加工向	32,061	86.7	17.9
計	179,163	97.2	100.00

# 宮城県農業公社大郷牧場の閉牧について

宮城県農業公社

宮城県農業公社大郷牧場は、宮城県の畜産農家への優良肉用子牛供給を目的に昭和45年3月24日宮城県畜産開発公社の特別会計事業として宮城県・農畜産業振興事業団・市町村・農業団体から出資を頂き、「大規模牧場創設事業」により開設され今日まで約30年間運営してまいりました。

この間、県内畜産農家を中心に子牛約4,600頭を生産供給、肥育牛として約1,000頭を出荷し、また、放牧地を活用した周年家畜管理技術体系の確立・大規模草地管理技術の実践・各種新技術の実践・農業後継者等の実務研修の実施等宮城県畜産振興と県内畜産農家の経営安定に貢献するための事業を実施してまいりました。

しかしながら、平成3年の牛肉輸入自由化を契機とした価格の低落をはじめ、厳しい諸情勢等により公社牧場の運営は大きな影響を受けたことから、運営方法等について宮城県をはじめとした関係機関と各種検討を重ねてまいりました。

その結果、大郷牧場を閉鎖し、その機能を白石牧場に集約し、宮城県肉用牛の振興方向（「21世紀みやぎの牛づくり活性化事業」）に基づいて、肉用牛繁殖雌牛の品種改良基地としての位置づけにより、

「肉量型に主眼をおいた繁殖雌牛主体の品種改良」と「繁殖農家の多頭化に対応した生産技術の試験研究並びに放牧を主体とした群管理技術の畜産農家への実証展示」等の役割を担うこととなり、新たな目的達成に向けて事業推進することに決定されました。

昭和44・45年度に基礎雌牛として兵庫県より黒毛和種250頭・熊本県より褐毛和種50頭の合計300頭導入による牧場事業開始以来、昭和50年当時外貌上における欠点と能力が未知数なため市町村から精液の希望もなかった種雄牛「茂重波号」の先駆的な子牛生産配付による県内畜産農家への普及活動により高品質の産肉事例による評価の高まり、更には、褐毛和種繁殖牛増頭による「あか牛」生産振興等々、数多くの思い出を残し、さる平成11年3月31日付けをもって宮城県農業公社大郷牧場は閉牧となりました。

最後に、大郷牧場は閉牧となりますが、その経験知識は白石牧場にて「優良肉牛資源供給事業」として引き継がれ宮城県畜産振興のため今後も努力してまいりますので、関係各位のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ閉牧のお知らせと致します。

(牧場管理課長 佐々木英一)



**KOMATSU**

カンタン操作で、  
飼料も堆肥もラクラク作業



**コマツ宮城株式会社**  
仙台市宮城野区扇町二丁目1の30  
電話 (022) (237) 7441番代

ビフィズス菌は  
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。  
活きたまま腸までとどきます。


**ビヒダス**  
ヨーグルト 500ml

宮城県乳業株式会社  
名取市北野坂五丁目1番3号  
☎ (022) 384-5181

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

**宮城県牛乳普及協会**  
仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688



平成11年度畜産関係主要行事予定一覧

宮城県畜産会

期 日	行 事 名	場 所	主 催 者
5月 19日	全国畜産課長会議(1回目)	東京都	全国畜産課長会
下旬	各畜産関係団体通常総会	県内	各団体
6月 中旬	県ホルスタイン改良同志会共進会	古川市	県ホルスタイン改良同志会
7月 未定	会計検査第1課(転作、資金)	県内	会計検査院第4局
26~30	会計検査第2課(公共事業関係)	県内	会計検査院第4局
5~9	会計検査第3課(非公共事業関係)	県内	会計検査院第4局
中旬	全国酪農経営安定対策連絡協議会総会	東京都	(担当県 長野県)
中旬	養鶏安定対策推進全国協議会総会	東京都	(担当県 岐阜県)
26日	全和登宮城県支部50周年記念式典	県民会館	全和登宮城県支部
8月 下旬	県総合畜産共進会(肉豚)	米山町	県畜産会
9月 中旬	北日本養鶏研究会 他	仙台市	宮城県養鶏協会 他
下旬	県総合畜産共進会(肉用牛・乳用牛)	小牛田町	県畜産会
10月 下旬	東北六県畜産課長会議(2回目)	秋田県	東北六県畜産課長会
下旬	畜産関係職員技術研修会	畜産試験場	畜産課
11月 上旬	仙台枝肉共進会	仙台市	全農宮城県本部
下旬	政府予算要望陳情	農林水産省	県
下旬	第3回東北六県北海道連合枝肉共進会	仙台市	宮城県家畜商協同組合
1月 下旬	県家畜保健衛生業績発表会	仙台市	畜産課
下旬	全国畜産課長会議(2回目)	東京都	全国畜産課長会
2月 下旬	県乳質改善共励会表彰式	仙台市	生乳販連
下旬	ヘルシーセミナー	仙台市	生乳販連
3月 上旬	宮城野枝肉共進会	米山町	県宮城野豚銘柄確立推進協議会
下旬	学校給食用牛乳供給事業推進協議会	仙台市	畜産課

実践大生校生の抱負

「さらば！ 創心寮」

宮城県農業実践大畜産学部 2年生 生活委員

農業実践大は、2年制の学校ですが、その2年間は、全寮制になっています。今まで、畜産学部の寮は畜産学部の中に『創心寮』がありました。創心寮は、昭和52年に作られた寮で、ここから卒業した先輩方は、21回生263名にもなるそうです。部屋の壁には隣室への連絡通路があったり、食堂には日くありげな神棚があったりします。

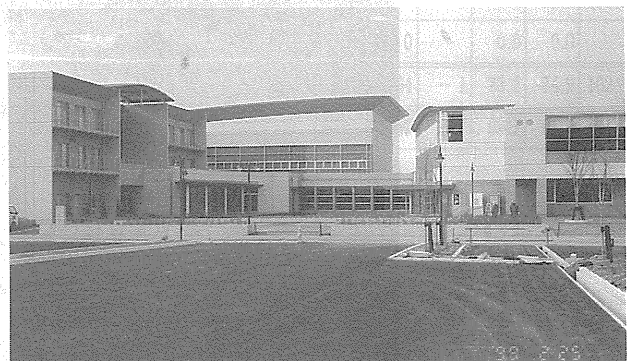
そして今年是我たちの番なのですが、私たちが入寮したのは、創心寮ではなく、農産学部の『瑞穂寮』でした。今年農産学部が移転新設されて、教室や寮も新しく素敵にリニューアルされたのです。

この寮は3階建てで1階は女子、2階は農産学部、3階は畜産学部が入っています。部屋は個室で、各部屋にエアコンが付いている優れたものです。部屋からは、農産学部の水田が見え、いつでも観察できるようになっています。

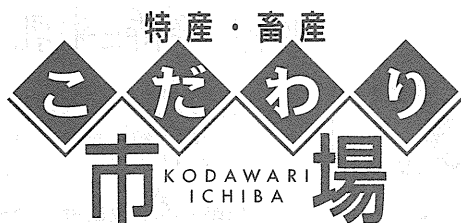
畜産学部自体は、岩出山町にそのままあり、私たちは、実習や勉強は岩出山町で、寝泊まりは古川市の瑞穂寮で過ごし、その間約4kmをマイクロバスで通学しています。

最初はバスで通学することに戸惑いもありましたし、また、家畜と離れて生活することも嫌だったのですが、慣れてくるに従い、新しい寮が快適になってきました。(快適すぎて朝起きられない危険有り。)

創心寮は無くなりましたが、この新しい寮で私たち畜産学部と農産学部の2年生が、新瑞穂寮の輝かしい歴史の基礎を作るよう頑張りたいと思います。



よろしく！ 瑞穂寮



.....日本全国いいもの産直便.....

各県の畜産会が選び出した全国約2000件の畜産物生産情報を、一堂に集めました。

今まで知らなかった珍しい畜産品や、こだわり畜産品の数々。産直品で食卓にひと花添えたい人から、産直品を作りたい人まで、とつても役に立つ情報が、インターネットでご利用になれます。

宮城県畜産会ホームページからのアクセスをお勧めします。

<http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>



<畜試便り>

牛ふんハウス乾燥施設の能力と運転法について

宮城県畜産試験場

家畜ふん尿の適正処理を法律で規制・促進する動きが具体化するなど、ふん尿処理を巡る環境は一層厳しさを増しています。

とくに酪農経営では、イナワラ、オガクズなどの入手難から搬出されるふんは高水分で、堆肥化処理どころか1mの高さに積むことすら難しい状況の所も見られています。

こうした現状に対処するため畜産試験場では、ビニールハウス内に自動攪拌機付き発酵槽を備えた乾燥施設を設置し(施設概要は、本紙第162号で既報のとおり)、その能力と運転法などについて検討を加えています。平成10年度の成績を中心にその一端を紹介します。

〔試験方法〕

床面積370.5㎡の軽量鉄骨造ビニールハウスに並列に配置した二槽の発酵槽(自動攪拌機付き、深さ、長さは共に32cm、30m、幅はI槽5m、II槽2m)とビニールハウス堆肥舎を用い7月、12月、1月の3回検討しました。

I槽での発酵乾燥処理は、生ふんを毎日投入(1,500~1,800kg)し、I槽・II槽を回行させて作成した乾燥ふん(水分24~27%)を加え、水分75%に調整して行いました。攪拌移送は、昼間のみ4~5回/日、攪拌機の走行速度は3.5m/分とし、投入ふんが8日後に排出されるよう設定しました。

堆肥舎での堆積発酵処理は、I槽から排出されたふんを1㎡或いは2㎡の枠に堆積し、1週間で切り返し、堆肥温が気温と等しくなるまで(7月、12月処理は12週間、1月処理は10週間)発酵させました。

〔結果及び考察〕

水分75%に調整した生ふんは、8日間の発酵乾燥処理で7月は64%、12月は71%、1月は70%に低下

しました。その後の堆積発酵で7月及び1月処理は、50℃以上の高温発酵が6週間継続し、最高温度も60℃以上に達しました。しかし、12月処理は最高温度が28℃までしか上昇せず、今回のような堆積条件下で安定的に良好な堆積発酵を促すためには、冬期にはI槽だけの処理では不安定でII槽での処理も加える必要があると考えられました。

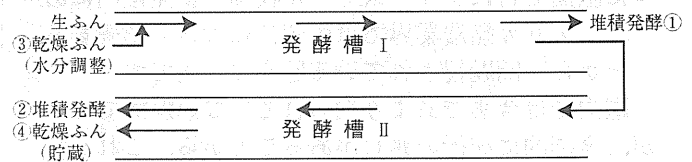
〔まとめ〕

ハウス乾燥処理は、自然の力を活用する方法なので、日射量や気温などの変化に応じた発酵槽の使い方が重要です。周年稼働を前提に、季節による水分蒸発量の違いから、下図のような乾燥施設の運転法を作成し、その検証を行っています。今後の成績によっては、水分調整の有無など、月別の運転法を一部修正する必要がでてくるかも知れません。

この施設を周年運転するためには堆肥舎及び乾燥ふん貯蔵施設が必要で、その規模算定や戻し堆肥の敷料適正などについて引き続き検討する計画です。

(主任研究員 及川恵壽)

図 牛ふんハウス乾燥施設の周年運転法(案)



	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
①	I槽処理堆積					○	○				○	○	
②	II槽処理堆積	○	○	○	○								○
③	水分調整	○	○	○								○	○
④	乾燥ふん生産							○	○	○			

宮城県動物薬品器材協会 (会員名)

(株) タ ッ ク 仙台市青葉区上杉3-3-8 TEL022-225-7330	(株) 美 濃 谷 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL022-245-4306
(株) エ ー シ ン 仙台市若林区卸町2-10-3 TEL022-284-8111	小 田 島 商 事 (株) 古川市清水字周防10-1 TEL0229-26-4567
(株) ト ー シ ン 古川市古川字上古川屋敷9-1 TEL0229-24-3211	(株) ニ 子 工 一 仙台市若林区卸町東1-8-20 TEL022-232-9755

<衛生便り>

牛の「蹄乳頭腫症」について

仙台家畜保健衛生所

最近、フリーストールやフリーバン飼養農場において、牛の趾間隙の皮膚にスピロヘータという細菌が感染して起こる蹄乳頭腫症という蹄病が流行しています。本症は1974年にイタリアで最初に発生してから、諸外国で発生が確認されています。日本では1993年群馬県での初発以来、北海道においてフリーストール牧場で乳牛の集団発生もみられ、全国各地でこの疾病が増加傾向にあります。

本症は後肢蹄に好発し、最初の病変は蹄冠部の被毛が異常に伸びて、化膿病変と汚物とでマット状のカサブタが見られます。発病した牛は病変部の激しい疼痛のため、起立時にはつま先で接地したり、重傷例では歩行困難になる場合もあります。慢性化して病変が進行すると、蹄の毛根部がピンポン玉位に大きくなり、適切な処置がとられないと悪性化し、泌乳量の減少や廃用牛の多発といった大きな損失をもたらす原因ともなります。

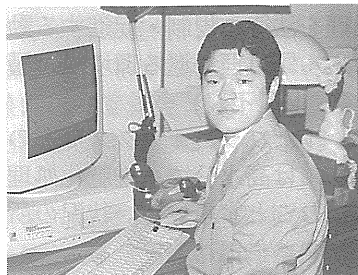
本症の感染に関しては未だ不明な点がありますが、牛の導入（輸入時の長途輸送による免疫力低下や、環境急変によるストレスなどに関連）によって発生したと思われる例が多く、一度侵入すると根絶は非常に困難で特にフリーストール牧場で多発傾向にあり、アメリカ酪農業界では生産性に大きく影響することから、問題視されている厄介な疾病です。

国内では今まであまり知られていない疾病でしたが、全国的に流行の兆しがあることから、これからの導入牛（国内外を問わず）は全て、蹄をチェックし、本症の感染有無を確認してから、蹄を十分に洗浄・消毒した後に牛群と同居させることが重要と思われれます。もし異常に気づいた時には、最寄りの獣医師へ早目に相談し、適切な処置を行ってください。（病性鑑定班 大越啓司）

<新人紹介>

抱負

仙台家畜保健衛生所 石橋 拓英



初めまして、私は日本大学獣医学科を卒業後、4月から仙台家畜保健衛生所防疫班に勤務している石橋拓英（いしばしたくひで）です。宮城県角田市出身で、

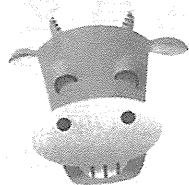
毎日実家のある角田から電車通勤しています。朝早い電車に乗るので、初めは早起きすることが大変だったのですが、今では体が生活に慣れ、朝5時には自然に目が覚めるようになりました。

学生時代から目指していた仕事に就職でき、希望に燃えて仙台家保にきたのですが、獣医師の知識を仕事に活用しようとしても、技術や経験が伴わないため、まだ思うようにはいっていません。スムーズに仕事を実践していけるように、まだまだ学ばなければならないことが多くあることを知りました。

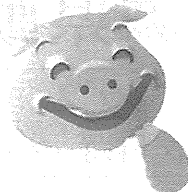
今、早く覚えたいと思っていることは自動車の運転です。5年前に免許は取りましたが、その後、中型バイクに乗っていて、ほとんど自動車を動かしていません。防疫班では、公用車に乗って畜産農家や牧場に行かなければ仕事にならないので、安全に運転ができるように練習をしなければと思っています。

社会人になって、私は何か趣味を持ちたいと考えています。最近の休日は、仕事の疲れから、家で体を休めるのみになっています。健康的で生き甲斐となる趣味があればと、先日、河北美術展を見に行きその影響で今は美術館巡りをしたいと思っています。

それでも、今の課題は畜産農家の役に立つため家保の防疫業務をきちんと実施できるようになることであり、一生懸命やっていきたい気持ちでいっぱいです。こうして毎日楽しく勤めていられるのはみなさまの暖かいご指導のおかげであり、本当にありがたいことだと思います。今後よろしくお願ひします。



毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり肉となる、たいせつなタンパク源。ビタミン、ミネラルも豊富な、たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-1224 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-382-8133